

報道関係各位

## 東京ビエンナーレ 2020/2021 会期後半の注目プロジェクトのご紹介

東京ビエンナーレ 2020/2021 の会期も後半に差しかかり、新たに展示が始まったアーティストの中から注目のプロジェクトをご紹介します。アーティストたちの作品の数々は通常美術作品の展示会場としては使われていない場所に展開されています。その見なれぬ風景をぜひご高覧ください。

### 1、佐藤直樹 そこで生えている。2013-2021

会期・時間：7/30(金) - 8/28(土) 11:00 - 18:00

会場：正則学園高校 6階教室

要パスポートまたは個別鑑賞券

2013年のから現在も終わることなく続いている木炭画「そこで生えている。」シリーズ。東日本大震災後に突き動かされるように絵画制作へと向かった佐藤の絵は、まるで雑草のように増殖し続けています。千代田区の正則学園高等学校の校舎に、現在も描き続ける「そこで生えている。」と「勢揃坂」シリーズを合わせた280枚を連結させ、佐藤にとって過去最長となる270メートルの絵画回廊を出現させます。



撮影：ゆかい

### 2、池田晶紀 いなせな東京 project

会期・時間：7/30(金) - 8/28(土) 11:00 - 18:00

会場：正則学園高校 7階体育館

要パスポートまたは個別鑑賞券

写真家の池田晶紀が「神田っ子」をモデルにポートレイトを撮影する企画として、2012年から継続するプロジェクト。現在では神田エリアからエリアを広げ、現代の「江戸っ子」を写し出すポートレイトとして、撮影と発表が行われています。今回は、これまでに撮影されたポートレイトを展示するほか、写真を介してさまざまな人々が繋がる空間を作り出します。池田の写真から写し出される「粋」で「いなせな」東京の姿をご覧ください。



撮影：ゆかい

### 3、柳井信乃 Praying for Tokyo 東京に祈る—「Well Temperament 良律」\*会期延長

会期・時間：8/2(月) - 8/11(日)/8/19(木) - 9/5(日) 10:00 - 16:30 \*8/13(金) - 17(火)閉場

会場：湯島聖堂 西廡 (回廊)

要パスポートまたは個別鑑賞券

新進アーティストの柳井信乃は、湯島聖堂の空間を音の場と捉えます。タイトルはウェルテンペラメントはバッハの「平均律ピアノ曲集」Well-Tempered から引用。今回のプロジェクトでは、ウェルテンペラメントにあたる「良律」と言う中国語を採用し、音楽家たちが求めた調和をもたらす音律と、現在の社会の状況を重ね、「良律」とは何かを考えさせられるインスタレーションを展開します。



Well Temperament ©Shino Yanai

### 4、立花文穂 球体9『機会 OPPORTUNITIES』

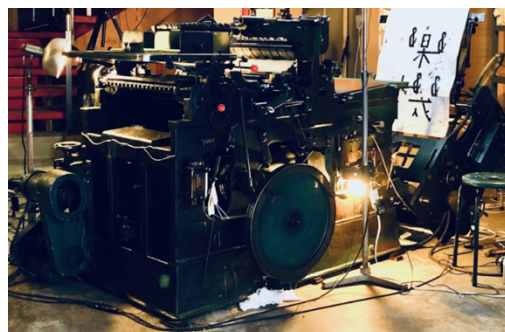
会期・時間：8/1(日) - 9/5(日) 17:00 - 19:00

\*月火休 \*土日のみ定員5名入替制 \*水-日 11:00 - 18:00 はガラス越しに鑑賞可

会場：総武線御茶ノ水～秋葉原駅間旅籠町橋高架下

無料

本や文字、書、紙などにまつわる作品をつくり続けている立花文穂は会場に活版印刷機を運び込み、自信が責任編集する雑誌『球体』最新号となる9号を現地制作します。電気街の喧騒から離れた廃墟的空間に活版印刷の機械音が響き、インクをのせて刷り出されていく紙片によって、立花が2007年より追求する「球体」の最新ビジョンが徐々に形づくられていきます。





### 5、中村政人 私たちは、顔のYシャツ

会期・時間：8/8(日) - 9/5(日) 11:00 - 18:00

会場：千代田区神田小川町 2-1

無料

1920年に創業したオーダーワイシャツ専門店「顔のワイシャツ」。看板建築として約100年間、逸脱した存在感を抱くこの店舗の存在を歴史化し保存することを試みます。最初は清掃からスタートし、最低限のリノベーションを行い店舗と制作スタジオなどを作っていきます。

### 7、伊藤ガビン モダンファート 第2号 特集 社会的距離の思い出

会期・時間：8/20(金) - 9/5(日) 12:00 - 19:00

会場：アーツ千代田 3331 屋上

要パスポート

体験型雑誌『モダンファート』の第2号。今回の特集テーマは「社会的距離の思い出」です。2020年初頭から急激に増殖した「ソーシャルディスタンス」に纏わる出来事を、空間的にコラージュします。未だ収まる気配のない新型コロナウイルス感染症の猛威とそれに対する反応を、少し未来の視点から懐かしむように味わう空間になります。

### 6、西村雄輔 Spirit of the Land 〈地の精神〉

会期・時間：8/7(土) - 9/5(日) 11:00 - 18:00

会場：有楽町ビル

無料

「地」そのものに触れながら、過去＝現在＝未来が共存する光景が感じられる瞬間をつくりだす、西村が長年継続して取り組んでいるプロジェクトです。東京のど真ん中に位置するオフィスビルを舞台に地中の奥深く、マントルの向こう側の「地」に触れ、「地」の声に耳を澄ませるインスタレーションを展開します。

### 7、commandN 天馬船プロジェクト \*参加者募集中

イベント開催：9/5(日)

展示期間：7/19(月) - 8/22(日) 11:00 - 18:00

展示会場：マーチエキュート神田万世橋 N9

イベントや寄付を通して、人々の河川への意識を少しずつ変えていくことを目指すアートプロジェクト。木造和船を模した長さ約25cmのミニ天馬船を神田川（聖橋～万世橋間）に浮かべ、川の流れにまかせてタイムトライアルを行います。参加者は、1000円の寄付につきミニ天馬船1艘分の参加権を得ることができ、イベント当日はミニ天馬船が川の上流から一斉に流れる様子をウェブ配信にて鑑賞できます。集まった寄付金の一部は、神田川の浄化・河川文化の振興活動にも役立てられます。展示ではこれまでのプロジェクトの様子をご覧ください。

### 8、イ・ブル 私はピクニックをしている子犬だと思う？1990～2021

韓国で最も有名なアーティスト、イ・ブル。本作では、90年に東京で行なわれた機械と生物の間のようなソフトスカルプチャーを身に纏って街を歩くパフォーマンスのデータをARで再現。現代の東京に彼女の彫刻が降臨する意味を考えさせられるとともに、パフォーマンス作品のアーカイブという意味でも新たな試みとなっています。（開発：AR 三兄弟 x 5G LAB）

(Sorry for suffering - You think I'm a puppy on a picnic? 1990stills from original performance Courtesy: Studio Lee Bul)

Modern  
f - a - r - t  
Magazine

second issue 02  
モダンファート第2号

[特集] 社会的距離  
の思い出  
In memory of social distancing



(yamajorimono\*works) 2006-



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の取り組みについてはプレスページをご覧ください。

※最終日は閉場時間が異なります。詳細はウェブサイトをご覧ください。

【お問い合わせ先】 一般社団法人 東京ビエンナーレ

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 アーツ千代田 3331 内

TEL:03-5816-3220 FAX:03-5816-3221 E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <https://tb2020.jp>